

メイプル



(12月号 NO①)

令和3年12月1日
ニュージャーシー日本人学校
校長 菱沼省二

【校長より】

『進路面接より』

毎年11月には、9年生(中学3年生)が、進路決定に向けて、校長の面接指導(面接試験の練習)を行っています。校長室に入って一対一で面接することは、緊張してしまい考えを思い通りに表現できない自分自身に、歯がゆさを感じることもあるでしょう。

私は、「面接は自分の生きてきた道のりを振り返り、これからの道を再確認、設計できる」いいチャンスだと捉えます。緊張はしますが、「自分の人生を省みて、自信をもつ絶好のチャンス」ではないかと思います。私が感銘を受けた印象的な回答を紹介します。

【興味深い回答】

- ・自分は今まで、一人でピアノを演奏してきた。メイプル祭ではサブ的な演奏を体験した。他の人を強調する演奏、他のメンバーとの協調した演奏の重要性や喜びを体験できた。
- ・現地校に通っているときに、英語がよくわからない私を、多くの同級生が受け入れ、サポートしてくれた。アメリカ人のやさしさに触れることができた貴重な体験になった。
- ・メイプル祭の演劇の取り組みで、たくさん話し合いをした。意見交換を重ねることで、より良いものが出来上がる体験をすることができた。意見交換の重要性を知った。
- ・運動会の取り組みでダンス発表のリーダーを務めた。人にダンスの楽しさを教えることの喜びを体験することができた。これからも「教える喜び」を大切にしたい。
- ・高校では、今までに経験できなかったこと(特に運動系部活動)にチャレンジし、新しい自分を発見したい。どんなことも体験しないとわからないことがあると思うから。
- ・言葉が通じなくてもわかり合えるような、「やさしい心の人」になりたい。「思いやり」を伝えられる人になりたい。
アメリカの生活で家族の優しさに触れ、そう感じた。
- ・自信をもてないような生き方はしたくない。常にプライドをもって、これからの生活を送りたい。
- ・チャレンジ精神を失うことなく、何ごとにも挑戦を繰り返して行くつもりです。



【好きな言葉】

- ・「人間は考える葦である」⇒人間はか弱い存在なので、考えることを大切にしたい。
- ・「一生懸命」⇒アメリカで努力し、頑張れた自分にたくさんの成長があったので。
- ・「大きな力を持った人には、大きな責任がある」⇒映画の中で登場人物のセリフ
- ・「行雲流水」⇒空を行く雲や流れる水のように、自然体で生きることが大切だと思う。
- ・「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」⇒母に教えてもらい、大切にしたいことだから。
- ・「不昧不落」⇒落ち込みやすい自分に打ち勝ち、安定した良い生活を送りたい。
- ・「諦めたら、そこで試合終了ですよ」⇒諦めることのない人生を送りたいと思う。
- ・「智勇兼備」⇒知識と行動する勇気のバランスを大切に生活していきたい。

【地球温暖化について】

『ドライアイスや気体化で温暖化防止することはできるのか?』

7年 出川悠雅

「きっかけ」

僕は植樹以外で温暖化防止が出来るか調べました。確かに木は二酸化炭素を酸素に変える役割をして役に立っています。しかし、木は土地を多く使い、また山火事により二酸化炭素を多く出してしまいうこともあります。2年前にはオーストラリアで大きな山火事のニュースがあったし、今年もカリフォルニアでの山火事も大きな被害を出しました。ですからここから立ち上げることは難しいかもしれません。だから僕は木以外で温暖化防止が出来るか調べました。

「ドライアイス」

最初はドライアイスで固めて宇宙に飛ばせばいいと思いました。しかし、ドライアイスを作るのは沢山のエネルギーを使っている事が分かりました。エネルギーを発生したら二酸化炭素も発生するので、ドライアイスは効率が良いことが分かりました。また宇宙に飛ばす為にはロケットの燃料を使うので、この考えは現実的ではないことが分かりました。

「気体化」

お父さんと兄とこの問題を話していると、二酸化炭素を気体にして土に埋めるプロジェクトがあると教えてくれました。僕はこのプロジェクトを調べて、似たような方法を調べることにしました。

「Carbon Capture and Storage」

このプロジェクトは排気ガスを地中にいれるというプロジェクトです。ただし、二酸化炭素を送り込まれた土地に、どんな影響があるのかはまだわかっていないから、反対する人々も多い事を聞いて、僕も反対になりました。最初はいいアイデアだと思ったけど、地震の時、地面が割れたあとが怖いからです。地面が割れたら二酸化炭素が排出して近くにいる人が窒息で亡くなるかもしれないからです。



「空気中から二酸化炭素を取り除く方法」

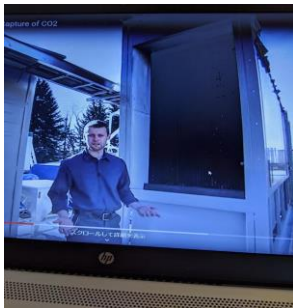


図1



図2

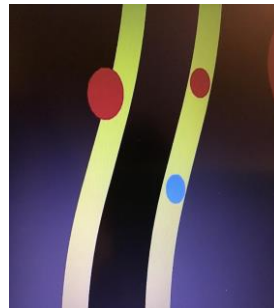


図3

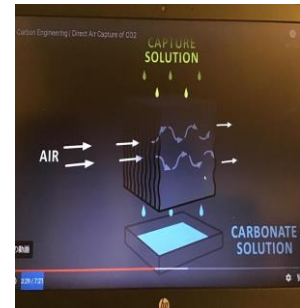


図4

図1が二酸化炭素を吸収するマシンです。拡大すると図2みたいに網状になっています。そして、図3を見て下さい。もっと拡大してみると網には二酸化炭素溶液が張られていて二酸化炭素が当たると炭酸塩になる仕組みになっています。重力で炭酸塩は図4の様に下に流れるようになっています。この様にして、二酸化炭素の量を減らしています。その二酸化炭素は、カーボンニュートラル燃料に代わります。

「感想」

僕はこの新しい技術を知って驚き、そして感動しました。なぜなら技術の進歩によって考えられないほどの多くの可能性があり希望を感じたし、僕たちの為に考えてくれている人が沢山いるんだと凄く感じられたからです。とてもかっこいいと思いました。僕も大人になったらみんなの役に立てるような仕事がしたいと思いました。



【先人に学ぶ】

「道はすべての人の前にひらかれている」

古谷綱武(ふるや つなだけ)

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、道がとざされていると思う人の前には道はとざされている。だめだと思う人はだめになっていく。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、自分が生きていくべき人生は、自分で発見していくよりほかにはないのである。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、人生を暗く生きようとする人には、明るい人生も暗くしか生きられない。

人生を明るく生きようとする人だけが、暗い人生さえも、明るく生きていくことができるのである。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、他の人が一度やり遂げられることが、自分には、一度でやり遂げられないこともある。

一度でやり遂げられないことは、十度やってみよう。十度やっただめなら、百度やってみよう。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、すぐに、簡単に、わかった気持ちになってしまうのは、危険である。一だけを考えて一がわかったと思うのは、本当に分かったことではない。百考えてやっと一がわかったのである。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、良いことを確かに良いとわかり、悪いことを確かに悪いと分かることが大切である。

しかもそれは、本当は、それほど易しい事では無いのである。その難しさをよく知った人でありたい。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、絶えず、知ろう、学ぼう、考えよう、とする意欲をもたなければ、人はその自分の人生の道を、歩き進む力を失うであろう。知り、学び、考えていくことが、自分の人生の道を歩いていくことだ。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、人によっては、自分にとっての一番易しい道しか、歩こうとしない人もいる。

だが人によっては、自分を育てるために、一番難しい道のほうを、一生懸命に歩み続けている人もいる。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、したい事だけして、しなければならぬ事は、なかなかやろうとしない人もいる。

しなければならぬ事こそを、まず行う人になりたいものである。

道は、すべての人の前にひらかれている。

しかし、この人生はまたその別の一方では、人にその道を見失わせるほどの誘惑と

失望とのくり返しにも、満ち満ちていることを忘れてはならない。道は平坦では

ないのである。それだからこそ、人生という道の味わいは深いのである。



原文は上記の2倍以上のボリュームがあります。菱沼が皆さん（保護者や児童生徒）と共有したいものを抽出し、一部文章を修正しました。

輝かしい「道を切り開いて行く」みなさんへ贈る言葉です。参考になれば幸いです。

【行事の思い出】

『イーストバレー』

8年 寺島凌吾

僕がイーストバレーのアクティビティの中で特に印象に残っているものは二つあります。一つ目はピンゴ大会です。ピンゴ大会は、景品が「みんなの前で目標や夢を語る」というものだったので、みんなピンゴにならないように工夫をしていました。それが面白く、印象に残りました。

二つ目はプロジェクトアドベンチャーです。プロジェクトアドベンチャーとは、グループで一つの課題やミッションをこなしていく活動のことです。イーストバレーでは、運動会の大玉リレーのようにピンポン玉を運んでいくゲームや、直接手を使わずに紐のみを使ってきれいに字を書くペンチャレンジなどを行いました。どちらも想像より難しく、挑戦回数が増えるにつれみんな真剣にクリアを目指すようになりました。また、最初は意見を言う人が少なく、黙っている人の方が多かったのですが後半になるにつれてみんながそれぞれの提案をするようになりました。僕自身も、ペンのチャレンジではいくつか意見を出したり話したことがない人と会話をしたりすることができました。

プロジェクトアドベンチャーでは、お互いが遠慮をすることなく自分の考えを伝えあうことができたと思います。この他のアクティビティも、カヌーやキャンドル作りなど楽しいものばかりでした。コロナウイルスの影響でオンラインが続いたり、静かに昼ごはんを食べたりしていた中で、イーストバレーでそのようなことを気にすることなく自由に活動できたのはとても楽しかったです。またイーストバレーに行きたいです。



【その他・連絡事項】

○「遠隔授業」等表記の修正

※今まで、メイプル（学校だより）等で表記していた「遠隔授業」の単語に誤解を生んでしまう、個々の解釈を生んでしまう使い方がありました。お詫びし、定義の修正をいたします。

【遠隔授業】とは下記の4種類の授業スタイルを指します。

- ①Web会議を利用した授業…Zoomを利用した「ライブ授業」
- ②自習課題 …学校が提示した課題を児童生徒が自習し、提出
- ③動画配信 …学校が作成した「動画」を視聴し、指示に従い学習
- ④学習支援システム …教育関係機関が作成した動画や学習課題を活用

【修正】

メイプル10月号②（10/15発行）、「その他・連絡事項」内の

『遠隔授業』⇒『Web会議利用した授業…Zoomを利用した「ライブ授業」』と読み替えてください。

※今後、Web会議を利用した授業は、「ライブ授業」という表記で統一します。

○新幹線模型寄贈

11月16日（火） JR東日本から、新幹線模型（122cm）の寄贈を受けました。

児童生徒代表（8年：大理佑輔）の謝辞

この度は新幹線の模型の寄贈をありがとうございます。ニュージャージー日本人学校にも鉄道が好きな児童生徒がいるので、とても喜ぶと思います。個人的な話になってしまいますが、僕は小さい頃新幹線に乗って京都に行ったことがあります。約2時間で京都に行けることに驚きました。僕は新幹線が日本を代表する技術の1つだと思っています。以前アメリカの友達と鉄道について話したことがあります。その子と話しているうちに新幹線の話になりました。その子が日本に行った時新幹線に感心したと言っていました。彼にとって電車は遅いものと言うイメージがあったそうですが日本に行ったら変わったと言っていました。僕はもっとこの日本の技術がより世界に広がって行ったら素晴らしいと思います。



【月の予定】

1 2 月			1 月		
日付	曜	行 事	日付	曜	行 事
12/1	水	懇談期間 15:25 下校(特別日課)	1/1	土	New Year's Day
12/2	木	保護者面談(1-8) 15:25 下校(特別日課)	1/2	日	
12/3	金	保護者面談(1-8) 15:25 下校(特別日課)	1/3	月	
12/4	土		1/4	火	
12/5	日		1/5	水	3 学期始業式 登下校指導 安全教室 バスピック会議
12/6	月		1/6	木	学力診断テスト(78)
12/7	火	書初め会(中) なかよしパン バーンズ来校	1/7	金	書き初め会
12/8	水	学校説明会Ⅱ	1/8	土	
12/9	木		1/9	日	
12/10	金		1/10	月	
12/11	土		1/11	火	
12/12	日		1/12	水	
12/13	月		1/13	木	⑦委員会活動 避難訓練
12/14	火	なかよしパン	1/14	金	スキー教室
12/15	水		1/15	土	
12/16	木	遠隔日本国領事館学習(6, 7) ⑦お別れ集会 バーンズ来校	1/16	日	
12/17	金	⑤⑥9年生を送る会 ⑦クリスマスギフト	1/17	月	Martin Luther King Jr. Day
12/18	土		1/18	火	なかよしパン
12/19	日		1/19	水	
12/20	月		1/20	木	③進路説明会Ⅲ
12/21	火	⑦バスピック会議	1/21	金	
12/22	水		1/22	土	英検一次
12/23	木	2 学期終業式・ 大掃除(午前半日 11:45 下校)	1/23	日	
12/24	金	冬季休業開始	1/24	月	ESL 保護者面談Ⅱ
12/25	土	Christmas Day	1/25	火	ESL 保護者面談Ⅱ なかよしパン
12/26	日		1/26	水	ESL 保護者面談Ⅱ
12/27	月		1/27	木	
12/28	火		1/28	金	ESL 保護者面談Ⅱ
12/29	水		1/29	土	
12/30	木		1/30	日	
12/31	金		1/31	月	全校集会

※コロナ感染状況の変化によって上記予定は、変更になる場合があります。
喫緊に発出される学年通信・学部通信等で再度、ご確認ください。